

無縁社会が 進んでいる！

町長

集落を基本とした 支え合いが大切



西山富三郎 議員

【西山】無縁社会が進み孤立死が年間3万2000人とも報じられている。

【町長】家族・地域・会社などにおける人との絆が薄れ、孤立する人が増えている。集落を基本とした支え合いのまちづくりが大切と考える。

【教育委員会】自分や友だち・家族・地域を大切にすることを、無縁社会回避につながると信じている。



人口が減少し空き家も増える

【西山】人の世にいのちのぬくもりあれ、人間にいのちの輝きあれという言葉が成り立つまちづくりを。

【町長】個人の意思や能力や責任によらない不合理な疎外や差別がある。その結果として貧困や生活苦、孤立や孤立死もある。

このことも念頭におきながら、無縁社会を食い止めることに全力で取り組む覚悟である。

【西山】町の最高規範として、自治基本条例を制定してはどうか。

【町長】全国的にも少しずつ取り組みが進んでいる。

大切なのは住民が自治基本条例の意識を持ち深められる環境づくり。

その上で、仕組みづくりの声を聞き、進めていくことが大切。時間をかけて考えていきたい。

自治基本条例 の制定を！

町長

時間をかけて 考える

【西山】自治を進めるための基本原則は。

【町長】地方自治で重要なことは、住民自治（その地域の行政を、住民の意志と責務にもとづくこと）と団体自治、その自治体の権限と責任で地域の行政を行うことである。

集落の健康診断・まちづくり委員によ

るまちづくり会議・まちづくりグループの交流連携活動・自主防災組織の育成など、住民が積極的にまちづくりに参加できる機会を設けるよう努めている。「自分のまちは自分の手でつくり、守り、育てる」という意識を高めていく。



御来屋地区の炊き出し訓練